



第1回 Tokyo2020 トレーニングレガッタ

【**TZF**テクノ 293 全日本選手権関東予選】

【**TZF**テクノ Plus クラスサーキット第2戦】

レース公示

大会期日：2016年5月28日（土）29日（日）

開催地：神奈川県鎌倉市材木座海岸

共同主催：NPO 法人日本ウィンドサーフィン協会・Tokyo2020 トレーニングレガッタ実行委員会

後援：一般社団法人 湘南海洋教育スポーツ振興協会

鎌倉マリンスポーツ連盟/鎌倉漁業協同組合

協力：セブンシーズ/アクアティック/マジックマリン/BIC スポーツジャパン/他

協賛：各社

1. 規則

- 1.1 本大会は2013-2016セーリング競技規則（以下RRS）付則B及びテクノ293クラスルール、RS:Xクラスルールに定義された規則を適用する。
- 1.2 帆走指示書と各規則に矛盾がある場合、帆走指示書を優先する。

2. 広告

- 2.1 艇は、主催団体により選択され支給された広告を表示するよう要求されることがある。

3. 競技種目

- 3.1 RS:Xクラス（9.5/8.5/U-19）
- 3.2 Techno293クラス（A-17/U-17/U-15）
- 3.3 TechnoPlusクラス（男子/女子）
- 3.4 ナショナルTechnoクラス（3.5/4.5/5.5）

4. 参加資格および申込み

- 4.1 主催団体が参加を認め、大会の名誉、品位を著しく損なう行為のない選手であること。

- 4.2 参加する艇は、参加申込書に必要事項を記入し、2016年5月24日（火）までに大会実行委員会事務局宛にメールでデータ（ファイル名に氏名記入）を送付し参加費を振込することにより参加申込を受け付ける。

参加申込書送り先 E-mail: tokyo2020trainingregatta@gmail.com

参加費振込先 横浜銀行 鎌倉支店 普通口座 6089257

Tokyo2020 トレーニングレガッタ実行委員会 （*カタカナ読み注意）

「トウキョウニゼロニゼロトレーニングレガッタジッコウイインカイ」

- 4.3 参加申込が遅れた場合には、レイトエントリー費として参加費 + 2,000 円で受け付ける。
レイトエントリーは5月27日18:00までとする。
- 4.4 18歳以下の選手は参加申込書に親権者のサインを必要とする。印刷をして大会当日に持参するかPDFにてメールで送付のこと。

5. 参加費

- 5.1 必要な参加費は次のとおりとする。

RS : X クラス 10,000 円

テクノ 293 クラス 10,000 円

テクノ Plus クラス 10,000 円

ナショナル Techno クラス U-15 3,000 円(大会は5月29日のみ)

* JSAF ナショナルチームはRS:Xクラスへの参加費を減額(-2,000円)する。

* JUBF ナショナルチームは参加費を減額(-2,000円)する。

* ナショナルチームは所定の参加手続きを行い参加申込書にナショナルチームメンバーである旨を記入すること。記入がない場合は通常の参加費とする。

6. レース方式

- 6.1 各クラスによりフリートレースを行う。

スタート順は当日のスキッパーズミーティングで指示する。

- 6.2 各クラスの男子と女子は同時にスタートし、同じ種目として得点される。

- 6.3 各クラスの参加艇数によってレース方式を変更する場合がある。

7. ターゲットタイム/タイムリミット

各クラスのターゲットタイムは以下の通りである。タイムリミットは各クラス、トップ艇フィニッシュ後20分とする。

RS:X クラス ターゲットタイム 20~25分

テクノ 293 クラス ターゲットタイム 25分

ナショナル Techno ターゲットタイム 10~15分

8. 日程

8.1 レース日程

5月28日	8:30~9:30	大会受付
	9:30~	開会式・スキッパーズミーティング
	10:25	最初のレースの予告信号時刻
5月29日	8:30~9:30	ナショナル Techno クラス受付
	9:45~	ナショナル Techno クラス スキッパーズミーティング
	9:55	最初のレースの予告信号時刻(ナショナルテクノ以外のクラス)
	10:25	最初のレースの予告信号時刻(ナショナルテクノクラス)
	16:45~	表彰式・閉会式(ビーチクリーン)

8.2 レース数

シリーズは最大6レースを予定する。ナショナル Techno クラスは最大3レースを予定する。

各日のレース数はレース委員会の裁量に任せられる。

8.3 レースの最終日は、15:30より後に予告信号を発しない。

9. 計測

9.1 各艇はそれぞれのクラスルールに準じた道具を使用することを各自の責任とする。レース委員会
が違反を確認した場合、その艇は失格となる場合がある。

9.2 参加選手はセールナンバーを RRS 付則 G・付則 B9 およびセールナンバーについてのルールと解釈
例について <http://www.jw-a.org/pdf/sail_rule.pdf> のとおり表記するものとし、これに違
反した選手は RRS77 のとおり本大会に参加することができない。大会参加後に表記違反が確認さ
れた場合は、本大会の全てのレースを DNC とされる。

9.3 ナショナル Techno クラスは運営側が用意したゼッケン NO. を使用する。

10. 帆走指示書

帆走指示書はレース当日に公式掲示板に掲示される。

11. 開催地

添付図1におおよそのレースエリアを示す。

12. コース

帆走するコースは、レース当日に公式掲示板にて指示される。

13. 得点

13.1 得点方式は付則 B8 を適用する。

13.2 大会は1レースの完了をもって成立とする。

13.3 大会は4レース成立した場合、艇のシリーズ得点は、最も悪い得点を除外したレース得点の合
計とする。ナショナル Techno クラスは3レース成立した場合、最も悪い得点を除外したレース
得点の合計とする。

14. 支援艇

14.1 支援艇は大会受付時に陸上本部にて登録受付をしなければならない。

14.2 支援艇はレスキューボートとみなされ、以下の条件を満たす場合のみ使用が許可される。

A) 下記注意事項にある問合せ先に、現地航行ルール及び出艇場所等の条件を確認しその指示に従うこと。

B) 常時は支援艇として航行範囲の制限を守り、レース委員会からレスキューボートとしての要請があれば、いつでもこれに応じること。この要請があった場合のみ制限範囲内への進入を認める。

C) 支援艇は、事前にヨットモータボート保険（対人対物賠償責任保険及び搭乗者傷害保険）に加入していること。

14.3 14.1,14.2 に違反した場合、関連する全ての選手に対しペナルティーが課せられる場合がある。

15. 賞

15.1 参加定数に応じて賞を授与する。

15.2 テクノ 293 クラスに参加の U-17/U-15、RS:X クラス U-19 は別に表彰する。

15.2 テクノ 293 クラスの A17 デイビジョン参加選手の男女各上位 50% に、本年度の「テクノ 293 全日本選手権」の参加資格を与える。

16. 責任の否認

各選手は自己の責任において大会に参加するものとする。（規則 4 参照）主催団体、実行委員会、または大会に関わる全ての関係者は、競技者の大会前大会中、大会後に生じた死亡、怪我、病気またはその他の物質的な損害についての責任を負わない。

17. 安全

規則 27.1、規則 40 を規則 J2.2(13)に基づき、常にライフジャケットを着用することを要求する。

18. 保険

各参加艇は有効な第三者賠償責任保険に加入していなければならない。

19. 問い合わせ

Tokyo2020 トレーニングレガッタ実行委員会（小菅：080-4428-5511）

E-mail: tokyo2020trainingregatta@gmail.com

添付図1【予定されるレースエリア】



*注意 駐車場は近くの有料パーキングをご利用ください。

波のある日は早朝から満車になる事が予想されますのでご注意ください。

*参考 テクノ 293 クラスルール (<http://www.techno293.net/>)